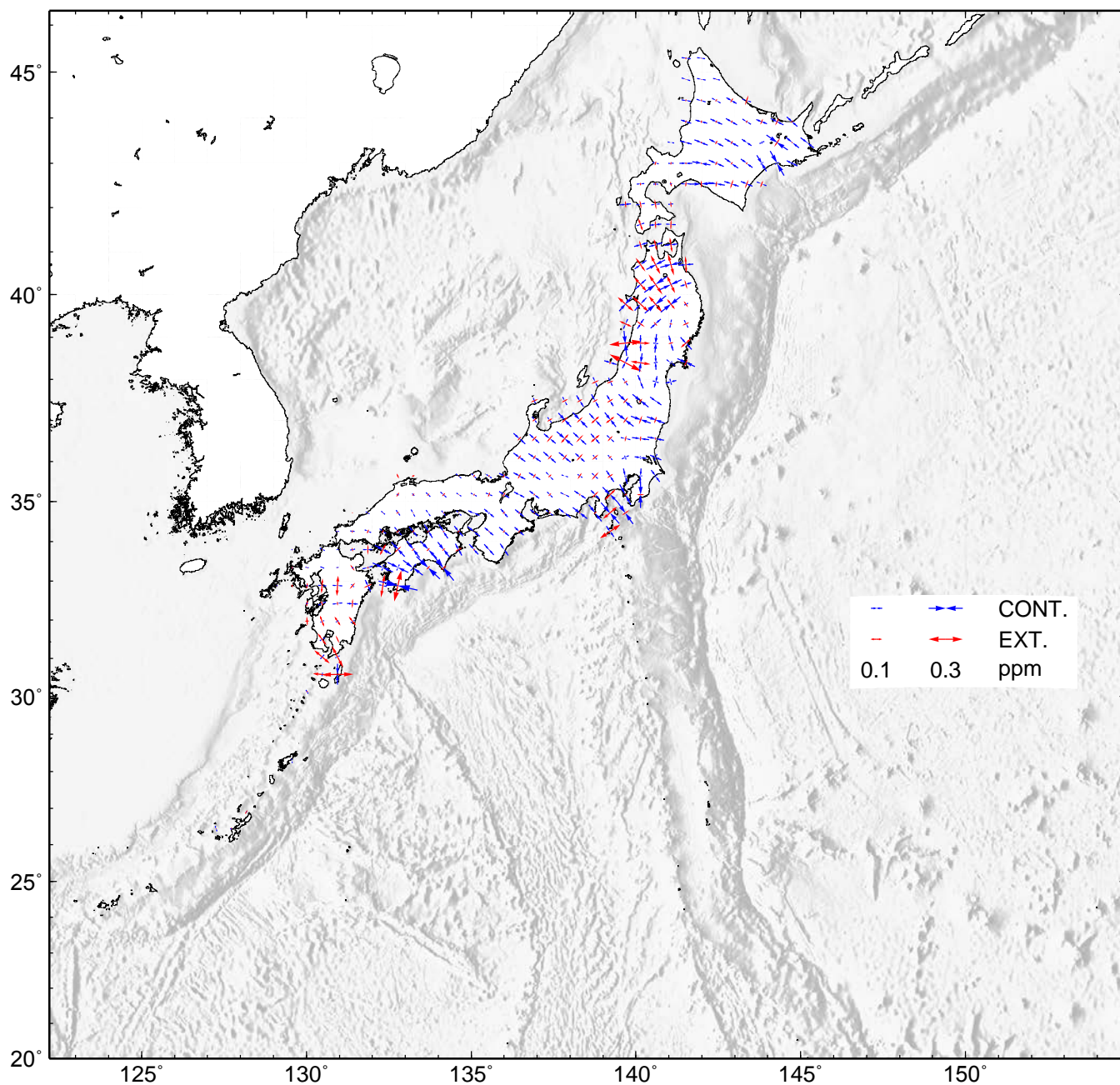


GNSS 連続観測から推定した日本列島のひずみ変化

- 2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震の余効変動の影響によるひずみが見られる。
- 2016年4月の熊本地震の余効変動の影響によるひずみが見られる。
- 九州北部・四国西部では、2018年春頃から始まったプレート間のゆっくりすべり（スロースリップ現象）の影響によるひずみが見られる。
- 2019年1月の種子島近海の地震の影響によるひずみが見られる。
- 2019年6月18日の山形県沖の地震の影響によるひずみが見られる。

基準期間：2018/09/28 – 2018/10/12 [F 3：最終解]

比較期間：2019/09/28 – 2019/10/12 [F 3：最終解]



- GNSS 連続観測による変位ベクトルからひずみ変化図を作成した。
- 海底地形データは ETOPO1 (Amante, C. & B. W. Eakins(2009)) を使用した。